

インクルーシブの窓

令和6年7月 富山県教育委員会教育みらい室特別支援教育課

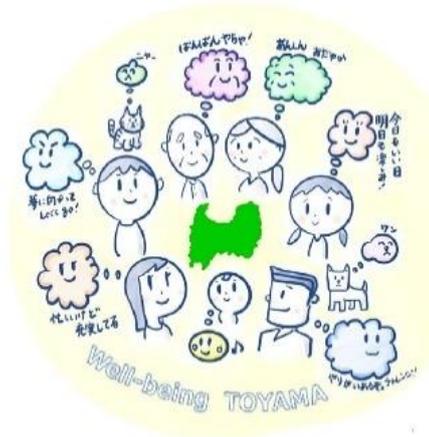


ウェルビーイングについて考えてみましょう！



インクルーシブ教育だより VOL.11でも紹介したG7富山・金沢教育大臣会合（令和5年5月）の成果である「富山・金沢宣言」の宣言文には、ウェルビーイングという言葉が9回も使われています。子供たちのウェルビーイングを支え高める教育の重要性が明記されました。では、ウェルビーイングとは何でしょう？

富山県公式ウェブサイトによると、ウェルビーイング（well-being）とは、「自分らしく幸せに生きられること」や「収入や健康といった外形的な価値だけでなく、キャリアなど社会的な立場、周囲の人との人間関係や地域社会とのつながりなども含めて自分らしくいきいきと生きられること」で、一人ひとりの気持ちや実感を大切にする概念であり、県民にそれぞれのウェルビーイングがあるとされています。



同サイトには、本県ウェルビーイング推進課が編集している『さあ、みんなで、考えよう！ウェルビーイング』が掲載されており、その中には「教育とウェルビーイング」編もありますので、ぜひご覧ください。

また、特設サイト「わたしの、みんなのウェルビーイング・アクション！」には、ウェルビーイングに関するいろいろな情報や「キッズページ」、先生方が設問に回答することで、ご自身のウェルビーイングの状態が花の形で表される「ウェルビーイング・チェック！」もあります。



先月に、高志の国文学館館長の室井滋さんによる絵本『タケシのせかい』が刊行され、県内の全小学校に配布されているほか、絵本連動企画として、皆さんのウェルビーイングも募集されています。読み聞かせや読書の時間を活用し、夏休みに入る前に、子供たちと一緒に多様性やウェルビーイングについて考えてみませんか？

<引用・参考>

- 富山県公式ウェブサイト「ウェルビーイングの推進」
なお、絵本連動企画について二次元コードリンク先下部「ウェルビーイング特設サイト」トップページ「新着情報」に掲載されていますので、是非ご覧ください。



こちらから